

1 福生市教育振興基本計画 (第2次) における取組内容と目標値

「方向4 社会の持続的な発展に貢献する力の育成 イ グローバルに活躍する人材の育成」
グローバル化が進む社会で子どもたちが生き抜くために、英語によるコミュニケーション能力をはぐくむ教育を中心とした、生きた英語の身に付く授業に取り組みます。

【指標】中学校第3学年の CEFR : A1 上位 (英検3級程度) 以上のスコアを取得する生徒の割合が50%以上

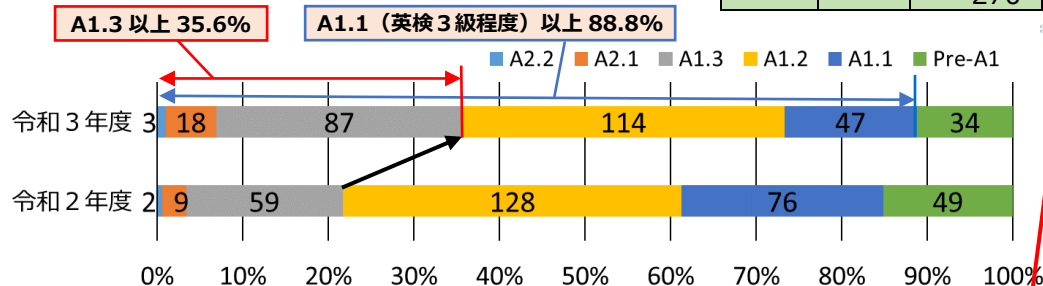
2 令和3年度の GTEC の結果 (中学校第3学年で実施)

(1) GTEC スコアと CEFR (CEFR-J)、英検との対照表

CEFR	CEFR-J	GTEC	読む	聞く	書く	話す
A1	A1.3	520~	110~	130~	140~	140~
	A1.2	370~	80~	90~	100~	100~
	A1.1	270~	60~	70~	60~	80~
—	Pre-A1	0~	0~	0~	0~	0~

CEFR	英検	GTEC
C1	1級	1400 ~1350
B2	準1級	1349 ~1190
B1	2級	1189 ~960
A2	準2級	959 ~690
A1	3級	689 ~270

(2) CEFR-J の達成状況 (単位: 人)



【分析】CEFR : A1 上位 (CEFR-J : A1.3) 以上の生徒の割合は、昨年度から13.9%増加し、35.6%に達した。授業改善に一定の成果が見られる。

(3) 平均スコア

※ 令和3年5月実施、中学校第3学年 303名対象 (カッコ内は公立中学校平均)

年度	総合	読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと
R3	458.8 (461.0)	100.2 (98.0)	110.0 (104.0)	154.2 (157.0)	94.0 (99.0)
R2	413.7 (427.0)	82.0 (93.0)	100.6 (105.0)	132.2 (127.0)	98.5 (106.0)

【分析】「書くこと」が CEFR-J : A1.3 を達成するなど、全体的に昨年度よりも平均スコアが向上したが、「話すこと」は平均スコアが低下し、課題となっている。

【参考】令和3年度「話すこと」の CEFR-J の割合と GTEC Cando リスト

割合	CEFR-J	やり取り	発表
1.3%	A2.1	簡単な意見交換ができる	人前で短い話ができる
8.3%	A1.3	簡単な質疑応答ができる	複数の文で意見を言うことができる
33.1%	A1.2	日常のやりとりにおいて簡単な応答ができる	簡単な語や句で意見を言うことができる
25.8%	A1.1	時間・場所について質問や応答ができる	自己紹介ができる
31.5%	Pre-A1	挨拶をしたり、挨拶に応答したりできる	名前や年齢などを伝えることができる

【分析】「話すこと」が CEFR-J : A1.3 以上の生徒の割合は9.6%であるのに対し、Pre-A1 の生徒の割合は31.5%となっている。「簡単な質疑応答」や「複数の文で意見を言う」等の言語活動を充実させる必要がある。

3 GTEC の結果を踏まえた授業改善

(1) 課題の見られた問題例

【設問】あなたは、昨日あなたに起こった出来事を留学生の友達に話すことになりました。イラストに登場する男の子になったつもりで、相手に伝えるように英語で話してください。

【回答例】① I was walking on the street. ② Then, I heard a girl shout behind me. ③ So I turned around and saw my books on the ground. ④ After that, I took off my bag. It was open! 【正答率】①69.9% ②37.7% ③18.2% ④10.9%



(2) 授業改善の具体例 (「GTEC 結果説明会」で中学校英語科教員が検討)

ア ピクチャーカードやキーワードを用意して、生徒が理解した内容を説明する活動を取り入れる。

イ 生徒同士のやりとりや1文付け足す会話練習等を増やす。

ウ 英語によるディベートを通して、人の意見を踏まえて即興的に自分の考えを述べる経験を積ませる。